

# 先週の回答



夫の赴任先から来た手紙は、約2メートルはあると思われる巻紙に隅から隅まで文字がびっしり。

そちも元気でやっていると、わしも元気でやっておる。空は晴れ上がって、風はさわやか、水は清く、低きに流れており、牛はやることもなくモーと鳴いている。のどかな山村はシャンソンを歌う者もなく、住人は人情厚く勘定高い。隣の五右衛門に、そんなにヒマだったら国の奥方にたよりをしたためたと言われ、硯に墨をすって筆を持って書き出したところである。

そちも存知ているだろうと思うが、わしより二年先にここに赴任してきた山田三郎右衛門がこの度、寝タバコがもと

で火を出した。火は見る見るうちに隣家に燃え移って、村落全体を焼きつくす火事にはならず、山田家の台所だけをこがした小火（ぼや）ですんだとはいえ、タバコの不始末は大事のもとになると、わしはこんこんと山田氏に説教したところである。

われわれの仕事は、この地の治安を守るのが職務。一瞬の油断もあってはならないことを肝に銘じなくては、いかにと説諭して湯に入ったが、わが家は火を出してはいないかと心配になったが、出してはいないか。

話は変わるが、娘の仙は元気にしておるか。あの子は体は丈夫だが、人は見かけによらないもの。ちよつとした不注意がもとで腹を下して一日じゅう泣いて

いたりしていないかが気がかり。泣く子と地頭には勝てぬものゆえ、そこそこよろしく。

ところで、そちもよく知っている同輩の馬並平四郎が、病にかかって、すっかりやせ細ってしまった。馬並はむかしから馬のように長い顔だったが、さらにやせて、やせさらばえたサラブレッドのようになつてしまった。馬はやせてはいかんとつくづく思う今日この頃である。以上じや。

これを簡にして要をおさえると「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥やせ」となる。



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。